

平和への思いを新たに

「平和と環境の日」記念

「地球市民の集い」を開催

市は、全国に先駆けて世界連邦都市宣言を行った10月14日を「平和と環境の日」と定めています。これを記念し、市などで構成する実行委員会は、毎年この時期に「地球市民の集い」を実施しています。



コンクール入賞者を表彰

今年の「地球市民の集い」は、10月22日に青野町のあやベグンゼスクエアで開催しました。第一部は「世界連邦都



表彰を受ける児童・生徒たち

市宣言」と「綾部市市民憲章」の唱和、「平和と環境の日」

告示文の朗読が始まり、続いて、第25回世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文



作文を読み上げる林さん

コンクール入賞作品の表彰式を実施。入賞者には賞状と記念品が贈られました。その後、

作品の部で最優秀を受賞した、豊里中学校1年生の林咲智さんが、作文「命をつなぐ」を読み上げました。

歌と踊りのステージも

第2部では地球市民の集い実行委員会の構成団体の1つである、綾部青年会議所の創立60周年・認承55周年記念事業として、平和に関するさま

オリジナル曲などを披露する金山ゆいさん



踊りながら歌う「cocon」

ざまなイベントを実施。綾部のご当地アイドル「cocon」のデビューイベントが行われ、デビュー曲を元気に披露しました。また、「平和コンサート」と題し、シンガーソングライターの金山ゆいさんが、東日本大震災復興支援ソングなど5曲を歌い上げました。

風船を飛ばす来場者



まゆピーダンスを踊る園児たち

第7回 あやバスに乗ろう！ 移動絵画展&クリスマスバス

市は、第7回「あやバス絵画展」を開催。入賞作品は「移動絵画展」として11月末まで上林線の車内で観ることができます。12月12日からは、「クリスマスバス」が上林線と志賀南北線を走ります。

最優秀作品



由良愛菜さん

前岡星さん

過去最多227点の応募

今年の絵画展には、市内の小中学校から過去最多となる227点（低学年210点、高学年17点）の応募がありました。入賞作品は「移動絵画展」として、上林線を運行するあやバス（車両番号29・20）で11月末まで展示します。入賞者は次の皆さんです（敬称略）。

低学年の部

最優秀賞 前岡星（中筋小3年）

優秀賞 梅原優梨（綾部小2年）▽相

根愛奈（吉美小1年）

佳作 野間ほのか（綾部小1年）▽

奥澤吉平（綾部小3年）▽佐

伯妙子（中筋小3年）▽高橋

優衣奈（同）▽福井絃生（吉

美小2年）▽村上綾（同）▽

西村英悟（西八田小2年）

桃太郎賞 村上汐音（吉美小1年）▽田

村美優（吉美小3年）

最優秀賞 高学年の部

あやバスでクリスマスを楽しもう

期間 12月12日(月)～25日(日) **内容** 市内の園児が制作した装飾を飾ったクリスマスバスが運行

路線 上林線(車両番号10-00)と志賀南北線(車両番号10-07)の2路線

※12月23日(金・祝)は9:45・11:45市立病院発・大町バスターミナル行きの車内で、サンタクロースがプレゼントを配ります。

問い合わせは市民協働課☎(42)4248へ

善聞 語録



81

C'est la vie

「C'est la vie」（セラヴィ）はフランス人がしばしば口にする慣用語。日本語に直訳すると「これが人生だ」くらいの意味だが、「人生ってこんなものさ」といった「あきらめ」や達観のニュ

アンスを帯びて使われる例が多い。人生は楽しい事や良い事ばかりではない。苦しい事や悲しい事も含めて全てを「これが人生」として受け入れ、一時の幸に浮かれたり徒に不幸を嘆いたりせず、どこか醒めた部分を持ちながらもその時々的人生に興じるフランス人の生き様が窺える。

だからこそ選択した人生を悔やむことなく全てを運命と受けとめ、それでもって「セラヴィ！」と言いたいものだ。フランス人が難しい顔をして呟く様も絵になるが、少なくともこの世に生を享けているうちは、明るく前向きに「人生ってこんなもんよ！」と言いつつ放ちたいものである。

山崎善也（綾部市長）

日本にも「苦あれば楽あり」「禍福は糾える縄の如し」などの故事・諺がある。洋の東西を問わず、良い時も悪い時も含めて人生。だから人生はおもしろいという境地に至る。一般に、人生の大きな選択を余儀なくされた時、選んだ道が正しかったのかは検証できない。何故なら一個の人間が二つの人生を同時に体験することは不可能だから。あの時に別の選択をしていたら、と仮に思ったとしてもそれを実証する術はない。栄養サプリメントが効いているのか、育毛剤が役にたっているのか。しかりである。



集 落再生への思い新たに

「第10回全国水源の里シンポジウム」(同実行委主催)が10月26日、府中丹文化会館で開かれ、市民や「全国水源の里連絡協議会」(会長、山崎市長)に加盟する自治体など900人が参加。養老孟司氏の講演の後、老富と古屋の集落再生に向けた活動報告や、有識者と市長によるパネルディスカッションなどが行われ、10年の節目を迎えた流域連携の必要性をアピールし、次世代につなげていくことを確認し合いました。

地 域医療の充実に向け整形外科医を増員

綾部市立病院(鴻巣寛院長)に整形外科医の神田拓郎さんが10月から着任しました。新たに常勤医師が1人増え、4人体制になります。今回の増員は、京都府立医科大学、市、市立病院の連携のもと実現。今後も他診療科の医師確保にも取り組み、医療体制の充実を図ります。



(蒲田さん：写真左)

綾 部の魅力を本で紹介！著者と出版社が表敬訪問

綾部の魅力をさまざまな視点から取り上げ、地方創生という点で紹介する本、驚きの地方創生「京都・あやべスタイル」～上場企業と「半農半X」が共存する魅力～の著者である蒲田正樹さんらが11月7日、市役所を訪れました。蒲田さんは「大きなまちではないが、ユニークな取り組みなど日本の先駆けがたくさんある。市民がまちの魅力を再認識し、また、市外の人にも綾部の良さを知ってもらおうきっかけになれば嬉しい」と語りました。

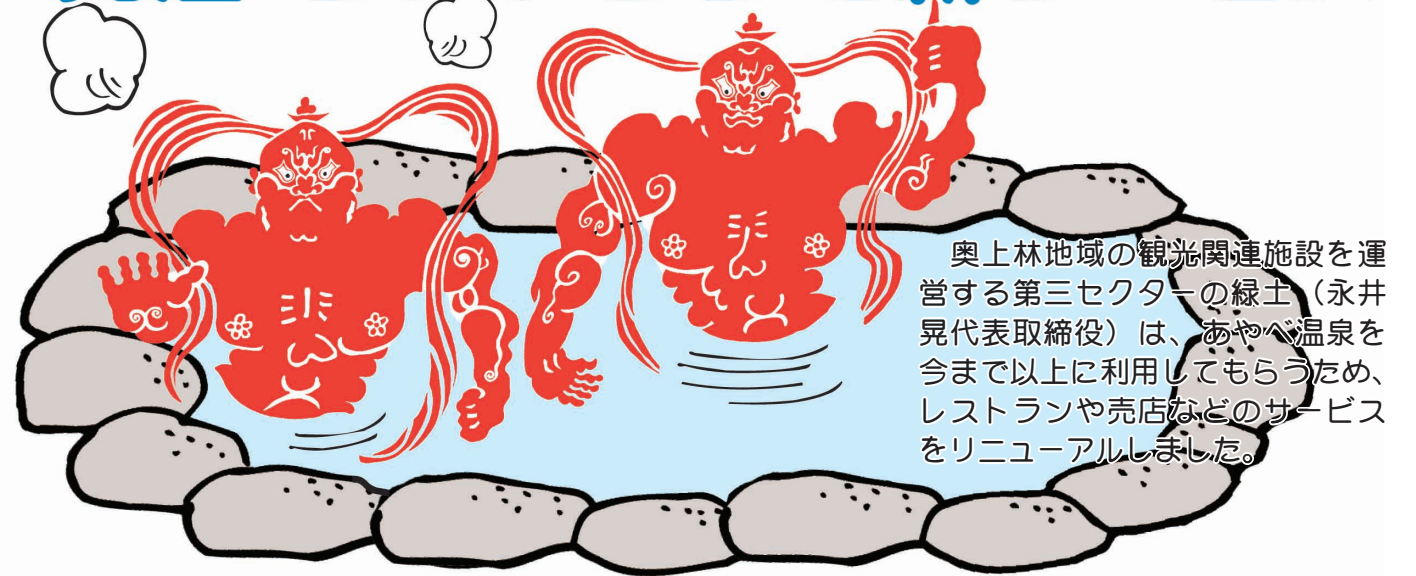
今 年も参加！ゆるキャラグランプリで市をPR

「ゆるキャラ®グランプリ2016 in 愛顔のえひめ」(同実行委主催)が11月5、6日に愛媛県松山市で開催され、綾部市マスコットキャラクター「まゆピー」も参加。ステージ発表などで来場者と交流しました。ゆるキャラの人気投票では、皆さんに応援いただき1931票を獲得。参加キャラクター1421体のうち総合665位(ご当地キャラクター408位)でした。今後も市内外のイベントに参加し、ゆるキャラを通じて市のPRを行います。



変わるあやべ温泉

売店・レストランで新サービス



奥上林地域の観光関連施設を運営する第三セクターの緑土(永井晃代表取締役)は、あやべ温泉を今まで以上に利用してもらうため、レストランや売店などのサービスをリニューアルしました。



イベリコ豚を使用した鍋コース

これからの忘年会・新年会シーズンにぴったりの新メニューが登場



女子会コース

お問い合わせは
お気軽に

入浴客にワンドリンクを提供
緑土は、レストランをこれまで閉めていた14時から17時30分までの時間帯もオープン。時間を気にせず利用できるようになりました。また、すべての入浴客にワンドリンクのサービスを行うなど、来店いただくきっかけづくりに努めます。さらにメニューを、地元食材を使用した定食や特色あるコース料理に変更しました。

アンケートで地元ニーズ確認
レストランと売店の運営変更にあたって、緑土は本年8月、中上林地区と奥上林地区の774世帯を対象にアンケート

これまで、土産物と地元産の野菜や特産品などを中心に取り扱っていた売店では、新たに日常生活品の販売を始めました。取り扱い商品は、調味料類やカップめん、缶詰、冷凍食品などの食品や、文房具、トイレットペーパー、市指定ごみ袋、洗剤類など。近くにコンビニやスーパーがない地域住民の利便性も高め、買い物ついでに温泉を利用してもらえるようにしました。

売店をコンビニ化



リニューアルした売店



新しい送迎用マイクロバス

あやべ温泉の送迎用マイクロバスの1台をこのほど更新。綾部在住の蠟結染め作家・松本健宏さんが国宝二王門の2体の像をモチーフにデザインされたものを、バスにラッピングしました。今後残りの車両も更新時に同様のラッピングを施す予定です。

問い合わせ
緑土 ☎(55)0262

ト調査を実施。その結果を踏まえ、遠方からのお客様とともに、地元の皆様にも、さらにあやべ温泉を利用いただくため、今後もサービスの向上に努めていきます。